

第二回プロサバンナ三カ国民衆会議への出席と発言

- 2014年7月24日、モザンビーク首都マプトで全国農民連盟（UNAC）主催により開催された「第二回プロサバンナ三カ国民衆会議」に在モザンビーク大使館丸橋参事官及び須藤 JICA 所長が出席した。
- パネル3「プロサバンナにおける日本の役割と責任」のタイトルの下、丸橋参事官が約15分間スピーチ（要旨別添）。
また須藤 JICA 所長より、パネル1において、プロサバンナは小農対象の事業であり、今次会議結果も踏まえ、農民の多様な意見を取り入れながら、モザンビーク農業省やブラジルと共により良い事業にしていく旨、またプロサバンナ事業は地元農民の生活安定に資することを主目的とし、外国への輸出は主目的ではない旨、発言した。
- 主催者 UNAC 関係者から、今回初めて日伯両政府関係者が出席し、発言したことを評価したいとの発言があった。